

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第2章 疾病別の医療連携体制の構築

第3節 心筋梗塞等の心血管疾患

とりまとめ担当課：医療課

1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) 予防
<ul style="list-style-type: none"> → かながわ健康プラン2 1 推進会議を1回開催した。 → 平成30年度は研修会を4回開催した。 → 未病センターの認証を行った (H31.3.31 時点:36 箇所認証)。
(2) 発病直後の救護、搬送等
<ul style="list-style-type: none"> → 神奈川県メディカルコントロール協議会において、救急救命士が拡大2行為を行うために必要な、講習、実習、認定・登録、プロトコール、指示医師への周知方法、事後検証体制及び安全管理体制等について協議し、承認した。 → 県民の救命率の向上を図るため、県内の全交番等警察施設にAED (計659台) を設置した。また、県内公立小学校で救命講習を行うなど、AEDの普及啓発事業を実施した。(H30 32校2,307名)
(3) 急性期の医療
(県の取組みは設定されていないため、評価は行っていない)
(4) 急性期後の医療
<ul style="list-style-type: none"> → 多職種連携を可能とする在宅医療人材の育成のために、在宅医療トレーニングセンターで各種研修を実施した(H30:研修95回 受講者2,933人)
(5) 医療機能の情報提供及び連携の推進
<ul style="list-style-type: none"> → 「かながわ医療機関情報検索サービス」を通じて、分かりやすい情報提供を行い、連携の推進を図っている。

2 目標値の推移

名称	単位	策定時	実績値 (H30)	達成 目安	目標値 (R5)	達成率 (%)	備考
特定健康診査・特定保健指導の実施率	%	特定健康診査 49.7% 特定保健指導 12.2% (H27)	特定健康診査 51.0% 特定保健指導 13.6% (H28)	特定健康診査 57.7% 特定保健指導 24.2%	特定健康診査 70%以上 特定保健指導 45%以上	△ (特定健康診査 16.2%) (特定保健指導 11.6%)	厚生労働省「平成27年特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」
心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数	件	135 (H27)	144 (H29)	138	148件	◎ 300%	消防庁「平成27年中救急救助の現況」
救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間	分	39.9 (H27)	39.4 (H29)	39.8分	39.4分以下	◎ 500%	消防庁「平成27年中救急救助の現況」
来院後90分以内の冠動脈再開通達成率	%	20.9 (H27)	20.9 (H27)	21.7 (H30)	23.0	○ 96.3%	NDB
心大血管リハビリテーション料（Ⅰ）届出施設数	施設	44施設 (H27)	51施設 (H29)	49施設	57施設	◎ 140%	H30.3.31診療報酬施設基準
心大血管リハビリテーション料（Ⅱ）届出施設数	施設	6施設 (H27)	3施設 (H29)	6.3施設	8施設	△ -10%	H30.3.31診療報酬施設基準
在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合	%	96.2% (H26)	96.2 (H26)	96.4% (H30)	県平均 96.7%以上	○ 99.8%	患者調査
虚血性心疾患患者の年齢調整死亡率	%	男性：27.3 女性：8.7 (H27)	男性：27.3 女性：8.7 (H27)	男性：26.3 女性：8.4	男性：24.6 女性：7.8	○ 男性 96.3% 女性 96.5%	平成27年人口動態特殊報告

3 参考指標の推移

指標名	単位	神奈川県内					参考指標を設定した理由	備考
		H30	R1	R2	R3	R4		

4 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 予防

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> 心筋梗塞の予防に関する各種会議や研修会が着実に実施されている。 特定健康診査・特定保健指導の実施率は上昇している。
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 必要な取組みが着実に実施されており、比較的順調に進捗した。

(2) 発病直後の救護、搬送等

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県メディカルコントロール協議会において、必要な協議を行った。 県内の全交番等警察施設にAEDを設置するとともに、AEDの普及啓発事業を実施した。
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 必要な取組みが着実に実施されており、比較的順調に進捗した。

(3) 急性期の医療

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	—
評価理由	—

(4) 急性期後の医療

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療トレーニングセンター等において、多職種協働のために必要な研修が多数実施された
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 必要な取組みが着実に実施されており、比較的順調に進捗した。

(5) 医療機能の情報提供及び連携の推進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> 「かながわ医療機関情報検索サービス」を通じて、分かりやすい情報提供を行い、連携の推進を図っている。
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 必要な取組みが着実に実施されており、比較的順調に進捗した。

5 総合評価

評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> 必要な取組みが着実に実施されており、達成率が100%を超える目標値も複数あった。 一方で、国から提供されるデータのマスク処理が厳格化されたため、実績値の把握が困難になっている。今後正確な数値の把握の方法について検討する。